

さらた

## 皿田遺跡

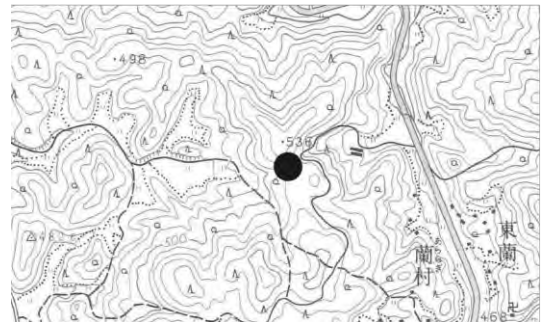
所在地 豊田市蘭町・下山田代町地内  
(北緯 35 度 1 分 34 秒  
東経 137 度 18 分 54 秒)

調査理由 豊田・岡崎地区研究開発  
施設用地造成

調査期間 平成 22 年 11 月

調査面積 300 m<sup>2</sup>

担当者 鵜飼雅弘・白井克尚



調査地点 (1/2.5 万「東大沼」)

調査の経過 皿田遺跡は平成 21 年に実施された県教育委員会の試掘調査により、遺物散布地として確認された遺跡である。豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成に伴う範囲確認調査として、愛知県企業庁より委託を受け実施した。

立地と環境 皿田遺跡は蘭町・田折町・下山田代町が境を接する標高 530m の丘陵頂部、および南に伸びる稜線および緩斜面を遺跡範囲とする。調査地点の現況は山林である。

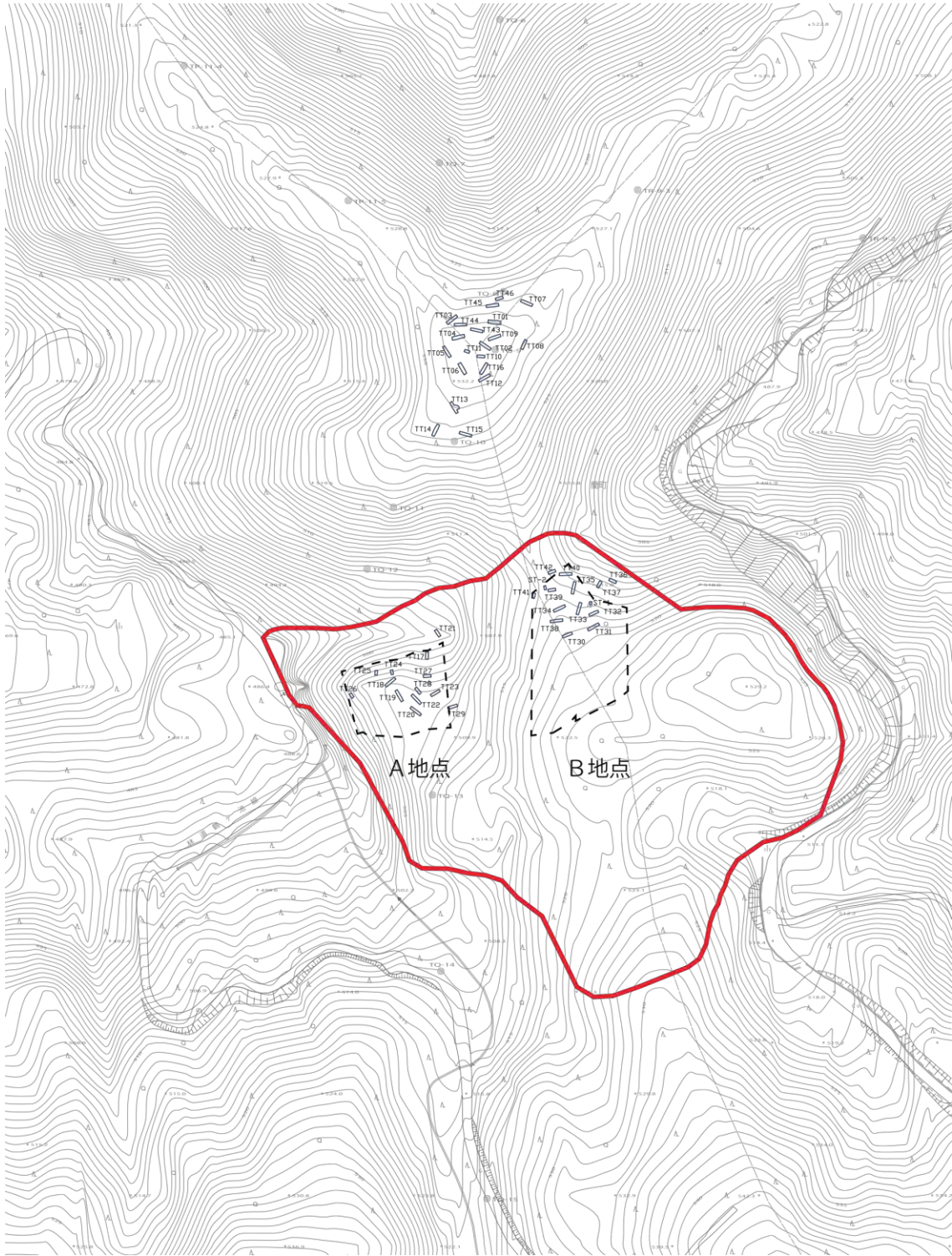
調査の概要 調査では山頂部に 20 カ所 (TT01～16、TT43～46)、丘陵に 28 カ所 (TT17～42、ST01、ST02)、合計 48 カ所の試掘坑を設けた。

丘陵緩斜面に設置した TT22・TT28 では溝状の遺構を検出した。また TT17・TT23・TT27 の黒褐色土から、平安時代末の灰釉陶器が出土した。(A 地点)。

また丘陵鞍部にあたる TT30～36、TT39～40 にかけて、表土の下層に暗褐色土の分布がみられ、試掘調査で検出された溝状の落ち込みの埋土の可能性がある。遺物は出土していない (B 地点)。

以上の所見から、A 地点、B 地点とも当該期の埋蔵文化財包蔵地とすることができる。

一方山頂部では遺構の検出、および遺物の包含は見られなかった。  
(鵜飼雅弘)



皿田遺跡 試掘坑位置(S=1:2,000)